

平成 27 年度事業報告書 (概要) 1 / 3P

	事業名	時期	概要
1	理美容品等の市場調査 (調査委員会)	平成27年4月～平成28年3月	NBBA会員会社のカテゴリー別商品出荷ベースによるマーケットシェアの分析を実施。
2	理美容/美容室男性ユーザー 利用意識NET調査(春季調査) (調査委員会)	平成27年5月8日～5月17日	男性ユーザーの理容室/美容室の現利用店舗評価、店舗選択行動、ヘアスタイル意識の調査 実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法:インターネット調査 ・調査エリア:全国 ・対象者:15歳～69歳までの男性 ・集計サンプル数 1,800(各世代300) ※合計については、サンプル数のみの集計を行う方式から、人口構成比でウェイトバックをかけ集計する方式に変更 ・ライフメディア (旧iMiネット) アンケートモニター会員 ※10代については、クロスマーケティングからも取得した ・調査期間:2015年5月8日(金)～5月17日(日) ・調査実施機関:(株)東京サーベイ・リサーチ ※本年度は基本質問項目のみの調査
3	サロン女性ユーザー 利用意識NET調査(秋季調査) (調査委員会)	平成27年10月	サロンユーザー(女性)の現利用のサロン評価、サロン選択行動、ヘアスタイル意識の調査 実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法:インターネット調査 ・調査エリア:全国 ・対象者:15歳～69歳までの女性 ・集計サンプル数 5,500 10代を500サンプル 60代を1,000サンプルに変更 ※合計については、サンプル数のみの集計を行う方式から、人口構成比でウェイトバックをかけ集計する方式に変更 ・ライフメディア アンケートモニター会員 ※10代については、クロスマーケティングからも取得した ・調査期間:2015年10月3日(金)～10月9日(木) ・調査実施機関:(株)東京サーベイ・リサーチ
4	第14回 NBBAカレッジ(継続事業) (アカデミー委員会)	平成27年11月13日 東京 平成27年11月12日 大阪	目 的: 会員会社の社員に対して、理美容業界の活性化及び社員の資質の向上を図るため、レベルの高い研修を開催。 テーマ: モチベーションを上げる人の育て方 会 場: 東京 / アリミノホール 大阪 / ミルボン大阪 講 師: 東京 / 栗城史多氏(登山家) 大阪 / 武田美保氏(シンクロスイマー)
5	臨時セミナー開催 (アカデミー委員会)	平成27年7月17日	目 的: 少子化による影響や、マイナンバー制度について講演及び情報交換。 ①マイナンバー制度及び経済産業省セミナー開催 平成27年7月17日(金) 14:00～17:00 テーマ: 1部「制度まで待ったなし! 1時間半でわかるマイナンバー実務ポイントセミナー」 講師: 湯澤社会保険労務士事務所 湯澤 悟 氏 テーマ: 2部「サービス産業の活性化・生産性向上に向けて」 講師: 経済産業省 商務情報政策局 宮田 豪 氏 会場: アリミノB1ホール 163名参加 ②NTTマイナンバー制度 e-ラーニングの開講 平成27年7月1日～9月30日 ID: 各社5名×10社 計50名配布
6	第14回 海外視察ツアー (アカデミー委員会)	平成27年10月12日～10月16日	目 的: 美容環境における課題や解決のヒントを海外に学び、社員の資質の向上を図る。 趣 旨: 発展著しいアジアの理美容事情の視察(教育制度、資格制度、流通の仕組み、消費動向など)レポートする。 視察先: タイバンコク… 美容室5軒、RENANAE(代理店)、美容専門学校、ミルボンタイ工場、武内プレス工場(アルコン)、JETRO 参加者: 8社12名参加

平成 27年度事業報告書 (概要) 2 / 3P

	事業名	時期	概要
7	アルミチューブ回収のフォロー (環境委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	アルミチューブ回収を実施しているサロン・地域に対して、支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月 20日 新潟ヘアカラー研究会がアルミチューブを回収するということで概要説明を行った。 ・6月 22日 回収用ビニール袋を支給した。 ・7月 18日 回収用オリコンを支給した。 ・8月 6日 回収用ビニール袋追加支給 (前回支給品のサイズが小さかったのと数量不足のため) アルミチューブ以外のエアゾール缶についても回収できないか検討を行った。 回収は可能だが管内に樹脂のノズルが入っているとLPGガスの残があり、完全にガス抜きされていない場合もあり、危険度が高く、実施すべきでないと判断した。
8	環境問題が業界に及ぼす影響についての研究 (環境委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	他業種で発生した環境問題から、美容業界での環境問題を考察した。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月 20日 水のリスク管理勉強会を行った。(講師 みずほ情報総研 瓜生様) ・7月 15日 原料のリスク管理勉強会を行った。(講師 みずほ情報総研 瓜生様) ・10月 2日 「廃棄物管理の実務現地確認対策」講習会受講(尾上雅典氏) ・2月 1日 2月1日理容関連団体に対して、アルミチューブリサイクルにおける、これまでの経験を踏まえアドバイスを行った。
9	環境対策に取り組んでいる業者訪問 (環境委員会)	平成27年6月12日	株式会社アボックス様を訪問し、取り組みの実際を学んだ。
10	NBBA活動の認知向上 (広報委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	◆目的 「NBBAの活動自体の認知向上：継続事項」 サロン市場への真の貢献に繋がるようNBBAの活動を継続的に発信。協会活動の理解の拡大と認知向上を目指す。またメディアや団体との新たな取り組みの受け皿となるべく、Webコンテンツとシステムの強化を図る。 ◆活動内容 ①HPの内容充実とメンテナンス強化 <ul style="list-style-type: none"> ・「サロンユーザー調査」全ページの更新。 ・「平成27年度事業計画・平成26年度事業報告」の更新。 ・「サロンユーザー調査」のハイライト版の更新。 ②サロンユーザー調査の活用強化 <ul style="list-style-type: none"> ・メディア、業界団体との良好な関係作りと積極的なコミュニケーション ・「各団体」シンポジウムやセミナーとの連動やデータの共有を模索 ・業界内外メディア41社に加えて、「業界35団体」に広報、調査連名で「サロンユーザー調査」と告知チラシを送付。 ・「美容の新しい価値」シンポジウムで「サロンユーザー調査」「ハイライト版」「読み解きトピックス」をCD化して参加者に配布。8月に350人に配布完了。 ③データから見る「ユーザー調査データ読み解きトピックス」の継続
11	NBBAの新しい活動の創造 (広報委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	◆目的 「NBBAの新しい活動の創造」 理美容業界の将来を見据えた、「課題や貢献事例」に関する活動を広報委員会と各委員会が連動で企画、「NBBAの価値確立への行動」を具体化し新しい市場の創造を目指す。 ◆活動内容 ①他委員会との連動強化 アカデミー委員会、流通委員会外部セミナーのレポート掲載、海外ツアーレポート。 関係継続中の経済産業省との会議をページ化、施策の中で、業界に転用可能なものをHPで紹介し、活用の促進を目指した。 マイナンバー制度のコラムで「気づき」の提案、今後の美容業界に起こりうる事をページ化し、「内閣府」等のHPをリンク、海外ツアーレポートをUPした。 <ul style="list-style-type: none"> ・他委員会との合同セミナーの開催。アカデミー委員会、調査委員会との連動を行った。 ・6月総会後のジャーナル記者会見の運営。 ②他団体への活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・美価値セミナーPR用CD代、データ制作一式。

平成 27年度事業報告書 (概要) 3 / 3P

	事業名	時期	概要
12	ホスティング (広報委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	<p>◆目的 「サーバーの安定運用」</p> <p>①ホスティング(通年) ・問題なく運用した。</p>
13	業界流通システムの 標準化推進活動 (流通委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	<p>◆目的 業界に対する最新の流通システム情報の提供を行い、EDIの推進をはかり業界全体の効率化を目指す。</p> <p>①流通オープンセミナーを東京・大阪で開催 大阪 2015年11月11日(水) 午後1時30分～ 参加者56名 東京 2015年11月18日(水) 午後1時30分～ 参加者79名 講師 糸井氏、大久保氏(綿エー・ピーカンパニー取締役副社長)</p> <p>②「NBBA楽々注文ねっと」「NBBAサロン楽々注文ねっと」推進業務 【NBBA楽々ねっと】契約メーカー 13社 代理店 543社 発注実績 約430社 【NBBAサロン楽々】契約代理店 14社</p>
14	業界標準流通システム構築事業 (流通委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	<p>◆目的 業界内の標準化をはかり、業界トータルの情報システム化とコストダウンを推進し、業界全体の効率UPを図る。</p> <p>①「NBBA楽々注文ねっと」サービス内容拡充 代理店様の利便性向上を目的として、代理店情報変更、支店追加機能のWeb申請化を行った。</p> <p>今後サポートされなくなると予想される「ActiveX」に代わる「ClickOnce」の実装と、ハンディターミナル利用時のインストールの簡略化対応を実施。</p> <p>また、お客様よりご要望いただいている以下の機能を実装。 ・発注完了画面での印刷機能の追加 ・発注履歴からの再発注機能の追加</p>
15	流通システム研究 (流通委員会)	平成27年4月～ 平成28年3月	<p>◆目的 理美容業界内の物流システム全般を考察し、業界全体の効率化に寄与する仕組みの研究を行い業界の方向性に何らかの判断情報を提供できるようにする。</p> <p>物流システム研究 ①共同物流研究 物流基礎知識習得の為、勉強会実施 各社データの収集と分析</p> <p>②異業種物流見学会実施 日通・パナソニック ロジスティクス株式会社 大阪センターを見学 住所：大阪府摂津市東別府3-2-7</p> <p>見学目的：家電業界の高品質物流 1)大阪センターの見える化 a.お客様への見える化 b.改善、仕事の見える化 2)5s運動の徹底化 a.継続改善の実施。協力会社も実施 b.業務改善へつなげる活動</p>